

公の施設の指定管理者における業務状況評価

平成21年9月8日

施設名	高知青少年の家	所管課室	生涯学習課
-----	---------	------	-------

1 施設の概要

指定管理者名	(財)高知県青年会館
指定期間	平成18年4月1日～21年3月31日
施設所在地	吾川郡いの町天王北1-14
業務内容	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の利用の許可に関する事 ・施設及び設備の維持管理に関する事 ・青少年の活動が安全かつ円滑に行われるための支援に関する事 ・主催事業を計画し、実施すること <p><平成20年度主催事業> 親子サイエンス教室 親子おりがみ教室 親子でつくる万華鏡教室 親子陶芸教室 親子布ぞうり教室 親子ポーセラーツ教室 親子で楽しむ冬の音楽会 親子パソコン教室 パソコンで遊ぼう 初心者パソコン教室</p>
施設内容	研修及び会議を計画する各種機関・団体・学校・グループ・サークル・企業等に施設を提供している。 利用開始日：昭和63年6月1日 施設面積：1230.39㎡ 建築物：鉄筋コンクリート2階建 施設概要： 大集会室200名×1 研修室45名×3 会議室20名×1 和室20名×1 和室15名×1 視聴覚室50名×1 談話室（ホール）
職員体制	所長1名（青少年体育館館長を兼務） 事務長1名（青少年体育館館長補佐を兼務） 事務員1名 指導員2名 計5名

2 収支の状況

		19年度(決算)	20年度(決算)	21年度(予算)
収入	県支出金	18,957,739	19,001,958	19,031,000
	事業費収入	95,100	88,250	60,000
	使用料	768,370	595,280	678,000
	収入計 (a)	19,821,209	19,685,488	19,769,000
支出	事業費	505,278	499,942	447,200
	管理運営費	7,951,576	8,747,043	7,809,000
	人件費	9,670,605	8,914,006	9,933,000
	消費税	925,380	929,217	901,800
	支出計 (b)	19,052,839	19,090,208	19,091,000

3 利用実績

(1) 利用団体数

	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平均
団体数	819	935	1,011	1,034	961	1,043	967

(2) 利用者数

	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平均
人数	19,111	20,409	20,165	21,117	20,300	19,859	20,160

4 業務の評価

項目	状況説明
①利用拡大のための取り組み	<p>利用拡大のために、以下の点で工夫が見られた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○昨年度に引き続き、子どもたちの放課後の居場所づくりとして、伊野南小学校を対象に、毎回定員を超えるほど人気のある主催事業「パソコンで遊ぼう」(週2回水・金曜日)を開催した。この教室で作成した作品を「のびのびパソコン作品展」に応募し、16名が入選した。また、職員がチラシや状況報告に学校訪問を行ったり、学校長が学校便りを週一回届けてくれる等、学校との連携を図った。 ○初心者パソコン教室では、教室終了後に、個人的に来所した方に対して職員が指導を行った。 ○マンネリ化しないように毎年見直しを行いながら、親子で参加する体験教室を多く実施している。(平成20年度親子交流事業は新規2事業を含む8事業) ○主催事業の募集案内の配布方法を見直し、必要な配布枚数の印刷を行い学校訪問し、直接配布を依頼することにより、保護者の手元に届くように改善した。
②利用者へのサービス向上のための改善策	<p>利用者へのサービス向上のために、以下の点で工夫が見られた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○利用者に、必要に応じて事前に施設を見学してもらうとともに、施設の備品等について職員と打ち合わせを行うように心がけている。 ○通学路沿いにある伊野南小学校の子どもたちのために、冷水機を設置した。 ○敬老会で施設利用があったとき、身体の不自由な方の参加があったため土足での利用を許可し、会の終了後、主催者、職員、清掃会社での清掃を行った。 (昨年度の課題への対応) ○「緊急時対応マニュアル」を作成し、職員に周知した。
③施設の運営について	<p>施設の運営について、以下の点で工夫が見られた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○日常の業務や主催事業は職員の役割分担にとらわれず、お互いが声をかけ合い連携しながら業務にあたっている。 ○施設の敷地内にあった樹木が大きくなり、交通安全面(敷地内から県道に出るときの視界が悪いこと)や不審者対策(外部から施設が見えにくくなったこと)の視点から職員が樹木の伐採を行い、見通しを良くした。 ○雑草の草刈や樋の補修等、軽微な修繕は職員で対応し、経費節減に努めた。 ○昨年度も課題となっていた職員の資質・指導力向上のための研修への参加については、本年度もローテーションの関係で参加することができなかった。 平成21年度は、早めに研修の情報収集を行い、参加できるようにローテーションを組んでいく予定である。
④利用実績	<p>○平成19年度と比較して、利用団体数は82団体増加したが、利用者数は411人減少した。主に団体の研修目的の利用が多い。</p>

⑤収支の状況	<p>○平成19年度と比較して、使用料収入は173千円の減収となった。 また、管理代行料については、当初予算額のほぼ全額の支出となった。</p> <p>平成20年度予算額 19,006,000円 残額 4,042円</p>
総合評価	<p>概ね事業計画のとおり管理運営されている。主催事業においては、親子のふれあいを大切にした事業を実施している。また、子どもたちの居場所としての機能を果たしており、地元小学校との関係は良好なものとなっている。</p> <p>昨年度の課題であった、「緊急時対応マニュアル」は作成をした。しかし、電気料金の目標設定については、利用状況により電気料金の変動するため、具体的な数値設定が困難なことから目標設定は行っていないが、使用していない部分の消灯を行う等、経費節減に努めている。また、職員の資質・指導力向上のための研修への参加については、本年度もローテーションの関係で参加することができなかった。しかし、職員同士の声掛けや助け合いにより、利用者サービスの向上に努めている。</p> <p>今後、さらなる向上を目指して、以下のことに取り組んでもらいたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者動向の把握・分析 ・青少年体育館が隣接しているという特色を生かして、両施設を一体的に利活用するための施設運営 ・計画的な職員研修

【評価の目安】

- A: 仕様書の内容や目標を上回る成果があり、優れた管理運営が行われたもの
- B: おおむね仕様書の内容とおりの成果があり、適正な管理が行われたもの
- C: 仕様書の内容や目標を下回る項目があり、さらなる工夫・努力が必要なもの
- D: 管理運営が適切に行われたとは認められず、大いに改善を要するもの